



PCI ボックス プロダクトノート

SPARC Enterprise™
T5120/T5140/T5220/T5240/T5440サーバ版

Copyright © 2009, 2010, オラクル社および / またはその関連会社、および富士通株式会社 All rights reserved.

オラクル社および / またはその関連会社、および富士通株式会社は、それぞれ本書に記述されている製品および技術に関する知的所有権を所有または管理しています。これらの製品、技術、および本書は、著作権法、特許権などの知的所有権に関する法律および国際条約により保護されています。

本書およびそれに付属する製品および技術は、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。オラクル社および / またはその関連会社、および富士通株式会社およびそのライセンサーの書面による事前の許可なく、このような製品または技術および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。本書の提供は、明示的であるか黙示的であるかを問わず、本製品またはそれに付随する技術に関するいかなる権利またはライセンスを付与するものでもありません。本書は、オラクル社および富士通株式会社の一部、あるいはそのいずれかの関連会社のいかなる種類の義務を含むものでも示すものでもありません。

本書および本書に記述されている製品および技術には、ソフトウェアおよびフォント技術を含む第三者の知的財産が含まれている場合があります。これらの知的財産は、著作権法により保護されているか、または提供者からオラクル社および / またはその関連会社、および富士通株式会社へライセンスが付与されているか、あるいはその両方です。

GPL または LGPL が適用されたソースコードの複製は、GPL または LGPL の規約に従い、該当する場合に、お客様からのお申し込みに応じて入手可能です。オラクル社および / またはその関連会社、および富士通株式会社にお問い合わせください。

この配布には、第三者が開発した構成要素が含まれている可能性があります。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに由来しています。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

Oracle と Java は、オラクル社および / またはその関連会社の登録商標です。

富士通および富士通のロゴマークは、富士通株式会社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、オラクル社および / またはその関連会社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

SPARC64 は、Fujitsu Microelectronics, Inc. および富士通株式会社が SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の商標です。その他の名称は、それぞれ各社の商標です。

United States Government Rights - Commercial use. U.S. Government users are subject to the standard government user license agreements of Oracle and/or its affiliates and Fujitsu Limited and the applicable provisions of the FAR and its supplements.



免責条項：本書または本書に記述されている製品や技術に関してオラクル社、富士通株式会社および / またはそのいずれかの関連会社が行う保証は、製品または技術の提供に適用されるライセンス契約で明示的に規定されている保証に限ります。このような契約で明示的に規定された保証を除き、オラクル社、富士通株式会社および / またはそのいずれかの関連会社は、製品、技術、または本書に関して、明示、黙示を問わず、いかなる種類の保証も行いません。これらの製品、技術、または本書は、現状のまま提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も、かかる免責が法的に無効とされた場合を除き、行われぬものとします。このような契約で明示的に規定されていないかぎり、オラクル社、富士通株式会社および / またはそのいずれかの関連会社は、いかなる法理論もとの第三者に対しても、その収益の損失、有用性またはデータに関する損失、あるいは業務の中断について、あるいは間接的損害、特別損害、付随的損害、または結果的損害について、そのような損害の可能性が示唆されていた場合であっても、適用される法律が許容する範囲内で、いかなる責任も負いません。

本書は、「現状のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も、かかる免責が法的に無効とされた場合を除き、行われぬものとします。

目次

はじめに	vii
技術サポート	vii
ソフトウェアリソース	vii
マニュアルへのアクセス	viii
ご意見をお寄せください	ix
PCIボックスプロダクトノート	1
サポートされているハードウェアとソフトウェア	1
パッチ情報	2
機能に関する問題	2
既知の問題	2
電源異常後、電源ユニットが自動的に再投入されない	2
Faultyとなった電源ユニットの状態を変更する	3
その他の既知の問題	4
解決済みの問題	5
マニュアルの変更予定	6

はじめに

本書では、PCI ボックス、ソフトウェア、および出版後に見つかったドキュメントに関する最新の情報を説明します。

以下の項目で構成されています。

- [技術サポート](#)
- [ソフトウェアリソース](#)
- [マニュアルへのアクセス](#)
- [ご意見をお寄せください](#)

技術サポート

PCIボックスのドキュメントで取り上げられていない技術上の問題または質問がありましたら、営業担当者または当社技術員までご連絡ください。

ソフトウェアリソース

PCI ボックスのホストとなる、SPARC Enterprise T5120/T5140/T5220/T5240/T5440 サーバには、Solaris オペレーティングシステム (Solaris OS) およびSun Java Enterprise System softwareがプレインストールされています。

SPARC Enterprise T5120/T5140/T5220/T5240/T5440 サーバのソフトウェアリソースについては、営業担当者または当社技術員までご連絡ください。

注 – 最新のパッチ情報は以下を参照してください。

日本語サイト

<https://software.fujitsu.com/jp/security/products-others/unix/>

グローバルサイト

<http://www.fujitsu.com/global/support/software/security/products-s/patch-info/>

インストールに関する情報とREADMEファイルもパッチと一緒にダウンロードされます。

マニュアルへのアクセス

PCIボックスのインストール、管理、使用のための手順は、PCIボックス関連のマニュアルに示されています。PCIボックス関連のマニュアルは、以下のウェブサイトからダウンロード可能です。

日本語サイト

<http://primeserver.fujitsu.com/sparcenterprise/manual/>

グローバルサイト

<http://www.fujitsu.com/sparcenterprise/manual/>

注 – 本書で説明する情報は、PCIボックス関連のマニュアルの情報よりも優先されません。

Oracle Solaris OSなどのSun Oracle製ソフトウェア関連マニュアル

<http://docs.sun.com/>

ご意見をお寄せください

本書に関するご意見、ご要望または内容に不明確な部分がありましたら、マニュアル番号、マニュアル名称、ページおよび具体的な内容を下記URLの『お問い合わせ』から送付してください。

SPARC Enterpriseマニュアルのサイト:

<http://primeserver.fujitsu.com/sparcenterprise/manual/>

PCI ボックスプロダクトノート

本書は、以下の項目で構成されています。

- サポートされているハードウェアとソフトウェア
 - 機能に関する問題
 - マニュアルの変更予定
-

サポートされているハードウェアとソフトウェア

本リリースでは、次に示すハードウェアおよびファームウェア、ソフトウェアバージョンがサポートされています。

- SPARC Enterprise T5120/T5140/T5220/T5240/T5440 サーバ
- 以下の表は、PCI ボックスをサポートする Solaris オペレーティングシステム (Solaris OS) および Intergrated Lights Out Management (ILOM) ファームウェアの最初のバージョンを、各モデルごとに示しています。

表 1 サポートされるソフトウェアのバージョン

サーバ	Solaris OS バージョン	ILOM バージョン
SPARC Enterprise T5120	Solaris 10 8/07 OS	7.1.6.d
SPARC Enterprise T5140	Solaris 10 8/07 OS	7.1.6.d
SPARC Enterprise T5220	Solaris 10 8/07 OS	7.1.6.d
SPARC Enterprise T5240	Solaris 10 8/07 OS	7.1.6.d
SPARC Enterprise T5440	Solaris 10 5/08 OS	7.1.8.a

注 - PCI ボックスを使用して、ホストサーバを外部ブートディスク装置に接続することはできません。

パッチ情報

- 現在のところ、PCI ボックス固有のパッチはありません。必要なパッチは、随時改版されます。ご使用のサーバまたはPCI ボックスで有効なパッチについては、「ソフトウェアリソース」(viiページ)を参照してください。
- ご使用のサーバを正しく運用するために、パッチが必要となる場合があります。ご使用のサーバに対する必須パッチを適用してください。詳細な情報については、ご使用のサーバに対応したプロダクトノートを参照してください。

機能に関する問題

ここでは、PCI ボックスに関する既知の問題を示します。

注 - PCI ボックスに関する追加情報が、Solaris OS のリリースノートまたはご使用のホストサーバのプロダクトノートに掲載されている場合があります。

既知の問題

電源異常後、電源ユニットが自動的に再投入されない

AC 電源が 55 秒以上絶たれた場合、復電時に電源ユニットが自動的に再投入されないことがあります。これは、電源ケーブルが一時的に引き抜かれた場合、または電源ユニットへの AC 入力が一時的に絶たれた場合に発生します。電源ユニットの電源スイッチを手動でオフ、オンする場合は、この問題は発生しません。この問題が発生した場合は、AC 電源の復電時に、電源ユニット前面にある AC LED は点灯しますが、OK LED は消灯のままとなります。

この場合は、電源ユニットの電源スイッチを 15 秒間オフしてから、再投入してください。復旧後は、電源ユニットの前面にある緑色の DC Power LED と緑色の AC Power LED が、点灯している必要があります。

この問題が発生したときに PCI ボックスがホストサーバで使用されている場合は、ホストサーバ上のサービスプロセッサによって、電源ユニットの故障状態が `faulty` に変更されるとともに、電源ユニットにある橙色の `Fault/Locate LED` が点灯されることがあります。いちど電源ユニットが `faulty` になると、電源を再投入しても、故障状態のままとなります。そのため、故障状態は、手動でクリアする必要があります。電源ユニットの故障状態をクリアする方法については、以降を参照してください。

Faulty となった電源ユニットの状態を変更する

ホストサーバ上のサービスプロセッサが、電源の投入に失敗した電源ユニットを検出すると、電源ユニットの状態を `faulty` に変更します。電源ユニットが再投入されても、`faulty` の状態はそのまま保持されます。

電源ユニットの故障状態をクリアするには、以下の手順を行います。

1. ハードウェアの問題が解決して、緑色の `AC LED` が点灯していることを確認します。
2. ドメインが稼働していて、PCI ボックスがサービスプロセッサによってアクセスできることを確認します。

以下のコマンドを実行して、PCI ボックスが表示される必要があります。

```
-> show /SYS
```

3. 以下のコマンドを実行します。

```
-> set clear_fault_action=true /SYS/IOX@nnnn/PSx
```

`nnnn` は PCI ボックス、`x` は電源ユニットのデバイス名を表します。

その他の既知の問題

表 2 に、PCI ボックスに関する未解決の問題を示します。

表 2 既知の問題

CR ID	説明	回避方法
6582282	周囲温度がアラームしきい値に達すると、過剰な数の警告メッセージが生成されます。 Ext info /SYS/IOX@nnnn/PSn THERMCTRL/T_AMBIENT has exceeded high warning threshold (メッセージが繰り返されます。)	周囲温度が最高値 (38°C/100°F) またはそれ以上になった場合は、周囲温度を下げてください。 注：周囲温度は、PSU の吸気口で測定されます。 周囲温度が最高値を中心に上下に変動を繰り返すと、複数のメッセージが生成されます。 周囲温度が最高値を超えるとときに上下に変動しなければ、メッセージは 1 つだけ生成されます。
6600214	電源ユニットがオンになったときに、 overtemperature LED が誤って点灯する場合があります。	温度が正常範囲にある場合は、次の手順に従って解決してください。 <ul style="list-style-type: none">• PCI ボックスの両方の電源ユニットを切断します。• 両方の電源ユニットの DC Power LED (OK) が消灯したら、両方の電源ケーブルを取り外します。• 10 秒以上待つから、電源ケーブルを再度接続します。• PCI ボックスに電源を投入します。 復旧できない場合は、営業担当者または当社技術員にご連絡ください。
6660119	電源ユニットが投入された状態で電源ケーブルを引き抜くと、電源ユニットの Fault/Locate LED が点灯し、FRUID に故障が記録される場合があります。	AC ケーブルを引き抜く前に、電源ユニットの電源スイッチがオフであることを確認してください。 この問題が発生した場合は、以下のコマンドを実行して、電源ユニットの故障状態をクリアし、 Fault/Locate LED が消灯したことを確認してください。 set clear_fault_action=true /SYS/IOX@nnnn/PSx この問題に該当しない場合は、営業担当者または当社技術員にご連絡ください。
6711118	PSH 予測的自己修復により PCI ボックスに障害があると診断された場合、障害の疑いがある FRU の位置が誤って表示されることがあります。	現時点では、有効な回避方法ははありません。

表 2 既知の問題

CR ID	説明	回避方法
6738517	Infiniband I/O カードはサポートされません。	PCI ボックスが SPARC Enterprise T5120、T5140、T5220、または T5240 サーバに接続されている場合、Infiniband I/O カードは、ホストサーバでも PCI ボックスでもサポートされません。 また、SPARC Enterprise T5440 サーバでは、Infiniband I/O カードを T5440 サーバ内で直接使用することも、接続された PCI ボックス内で使用することもできません。

解決済みの問題

表 3 に、解決済みの問題を示します。

表 3 解決済みの問題

CR ID	修正先	説明	回避方法
6562085	fan controller firmware 2.2	I/O ポートが正しい内部温度を通知しない場合があります。	通知された温度は無視してください。
6563777	fan controller firmware 2.4	I/O ポートを PCI ボックスから取り外し、再度挿入すると、本体装置によりエラーメッセージが生成される場合があります。	次に示す ILOM コマンドを実行して、PCI ボックスをリセットしてください。 reset /SYS/IOX@nnnn nnnn は、PCI ボックスのシリアル番号です。
6565649		システム起動時に、PCI Express I/O ポートが認識できない場合があります。	ソフトウェアが自動的に I/O ポートを稼働状態に復元します。I/O ポート交換の依頼を営業担当者または当社技術員にご連絡ください。I/O ポート復旧後も、I/O ポートの Fault/Locate LED が点灯されたままになることがあります。I/O ポートは通常どおり稼働しています。

マニュアルの変更予定

『PCIボックス インストール・サービスマニュアル』は2010年8月に改版されました。現時点で、追加となる変更箇所はありません。